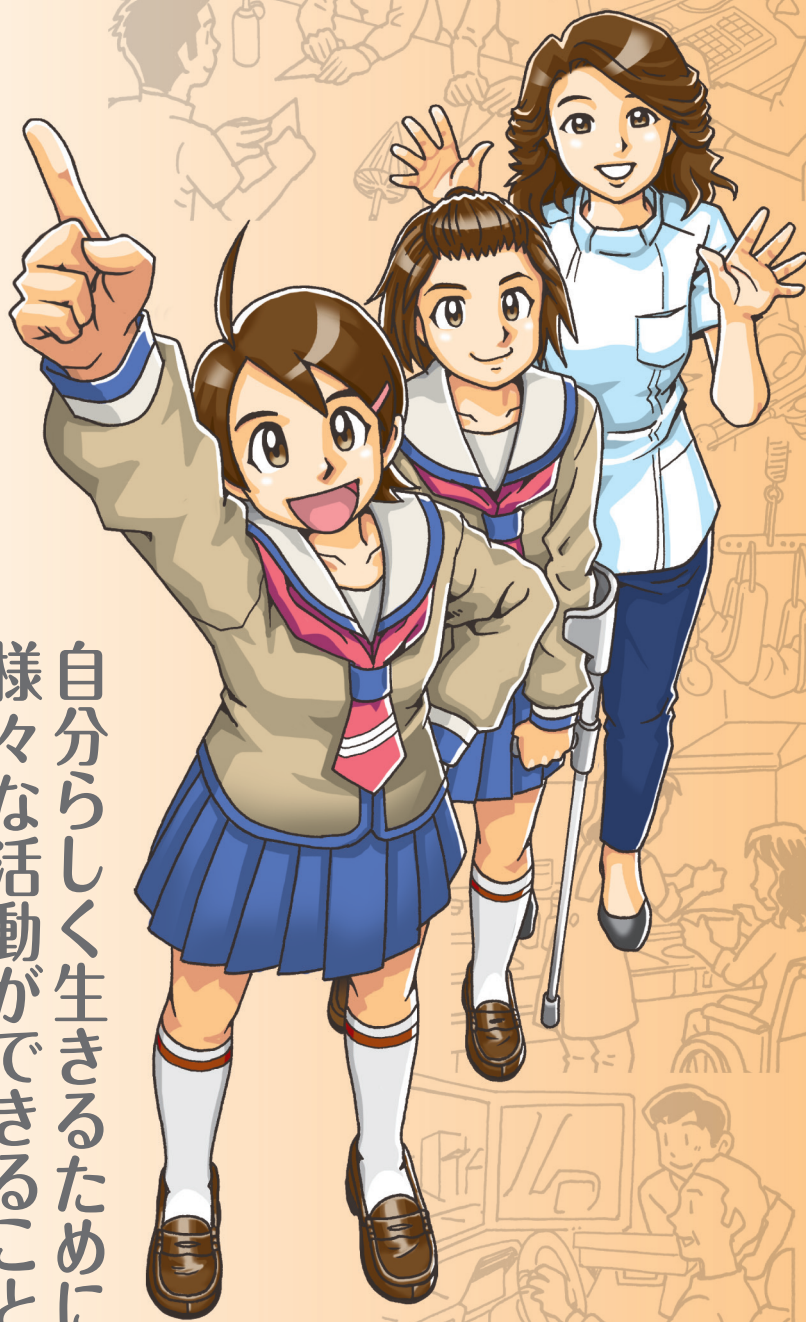
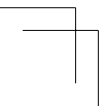


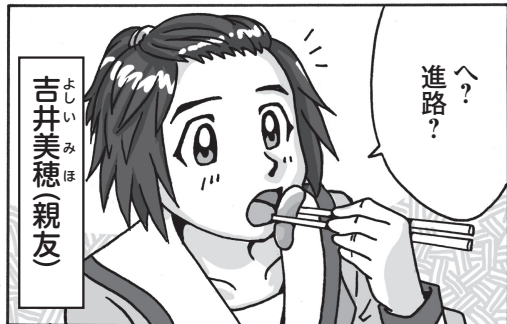
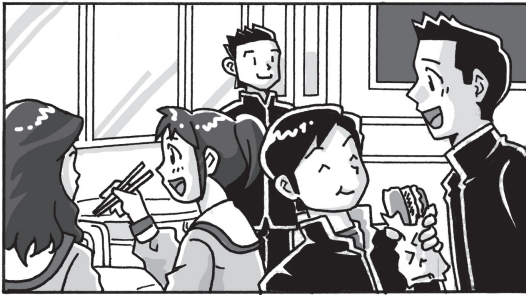
# 作業療法の魅力

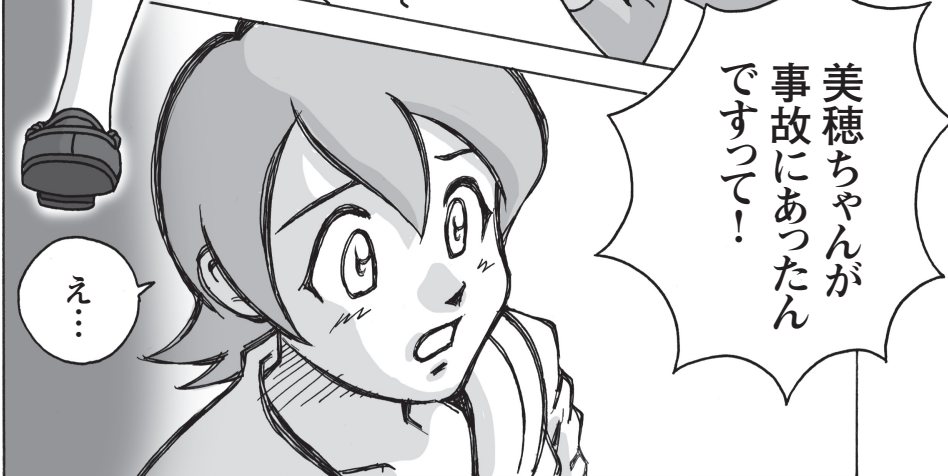
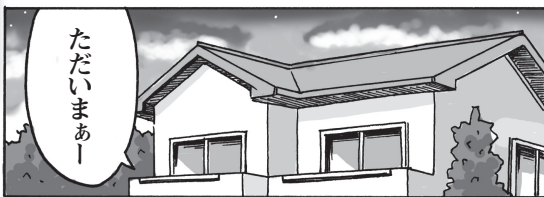
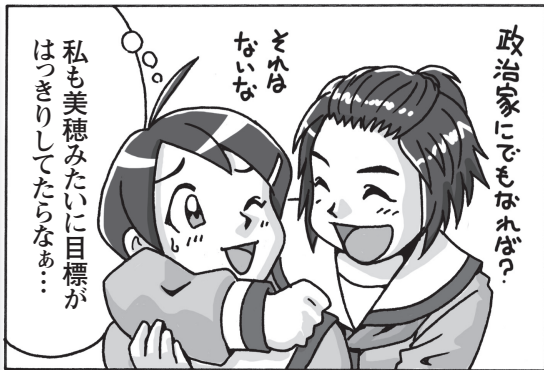
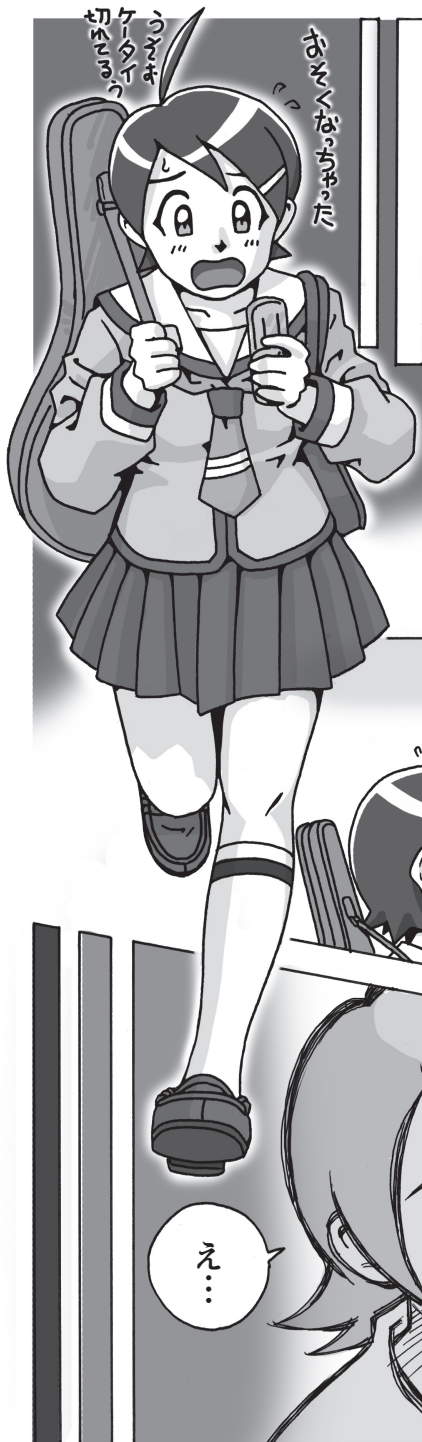
自分らしく生きるために  
様々な活動ができること

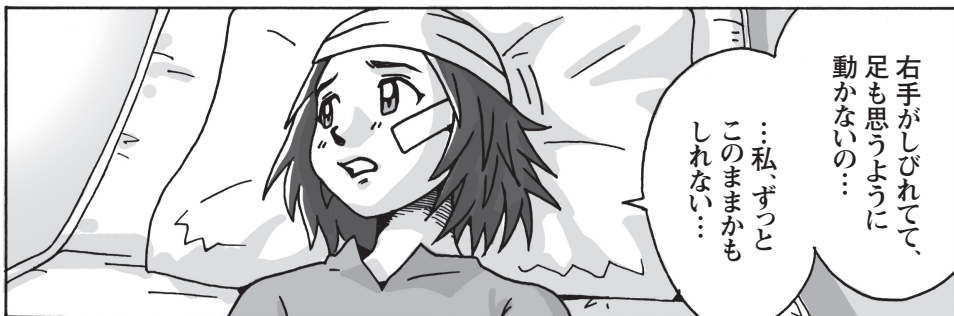
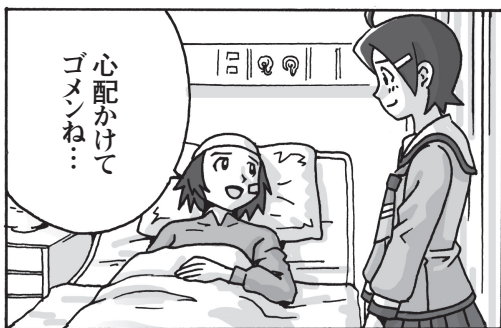
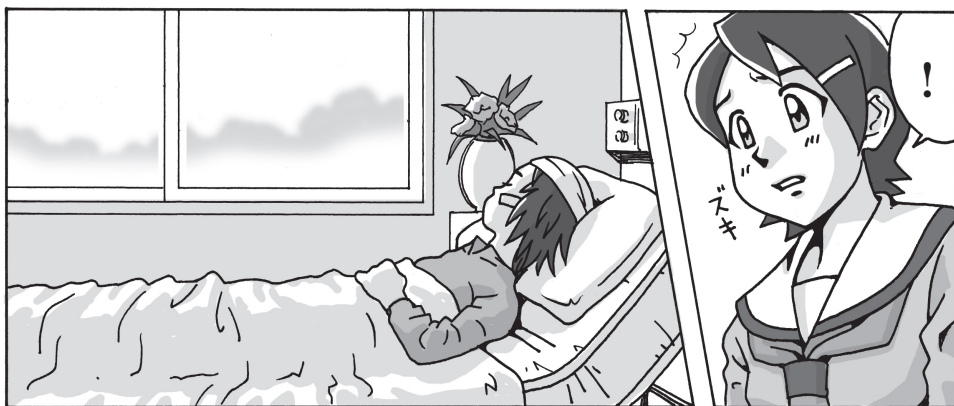


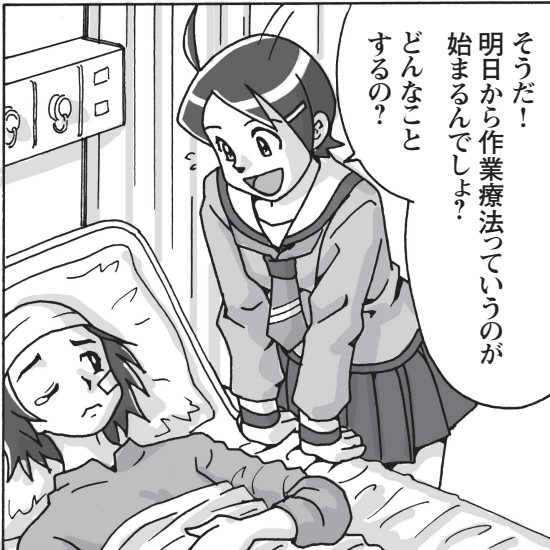
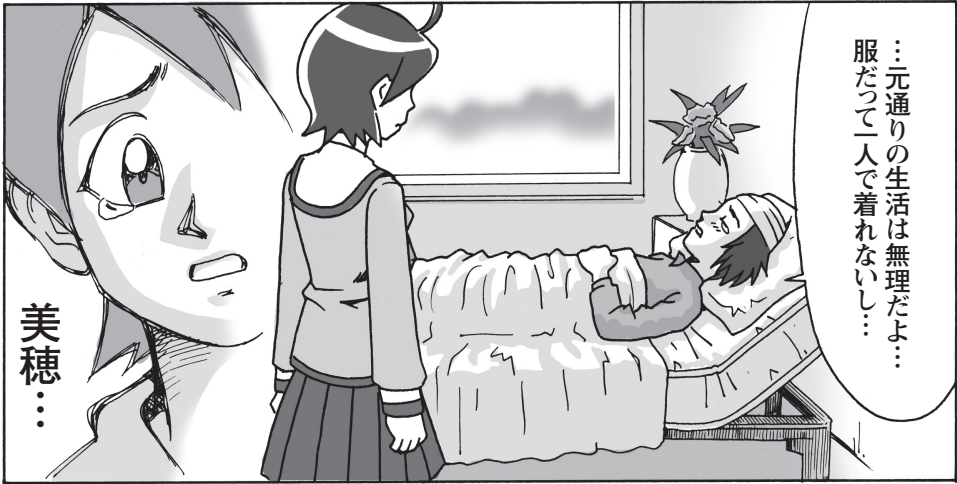




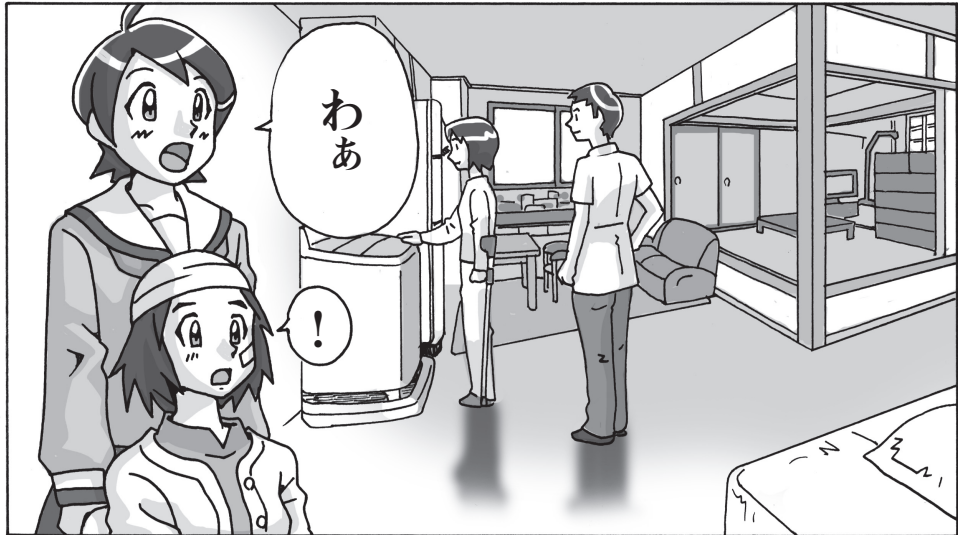














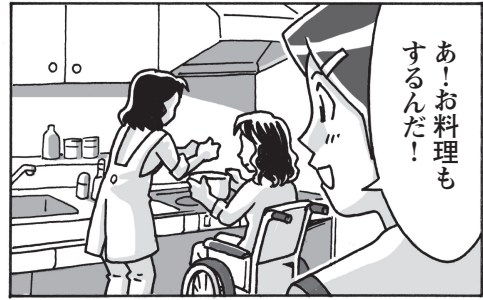
うん、  
なんか  
あつたかい  
雰囲気  
だね。



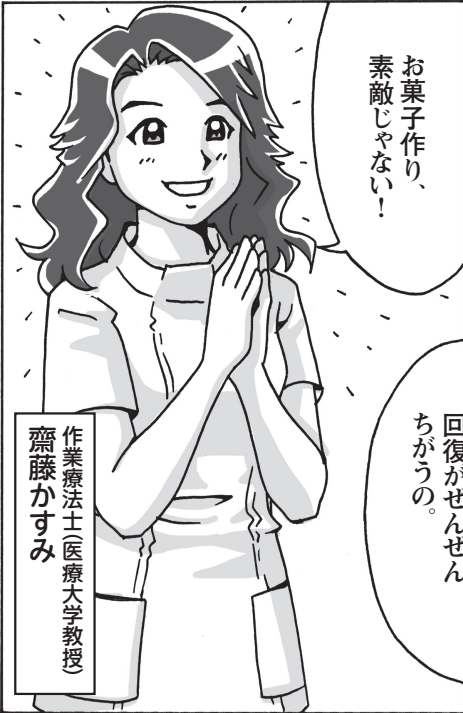
なんだか  
病院の中  
じやない  
みたい。



お菓子…  
作れる  
かな…

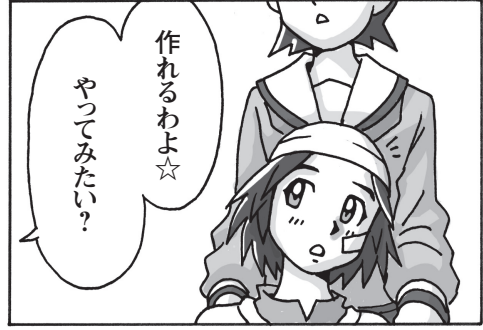


あ！お料理も  
するんだ！



作業療法士(医療大学教授)  
齋藤かすみ

お菓子作り、  
素敵じゃない！

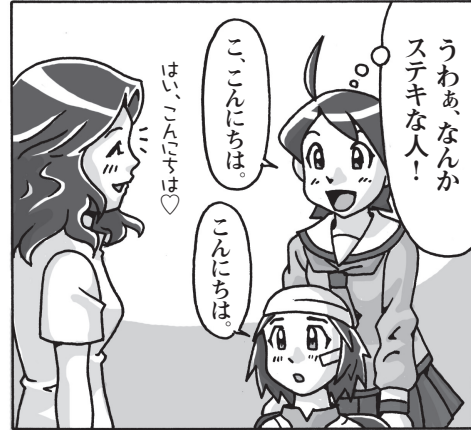


作れるわよ☆  
やってみたい？

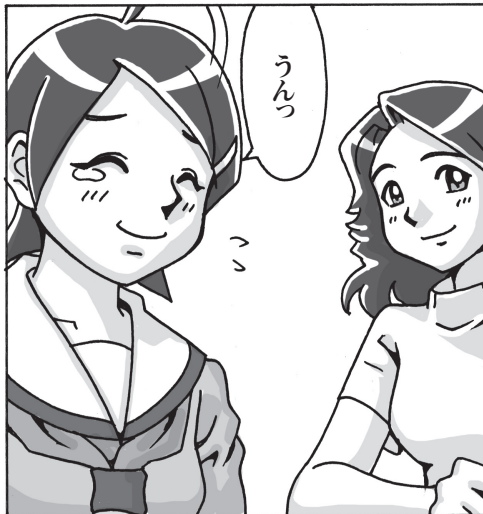
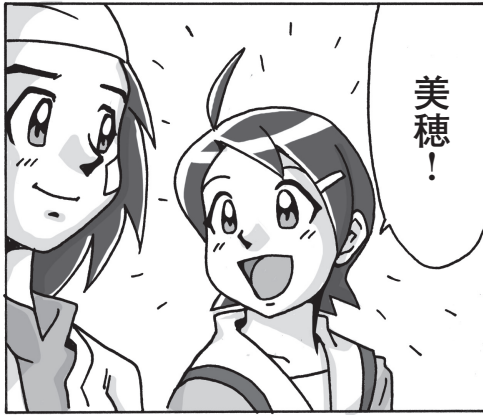
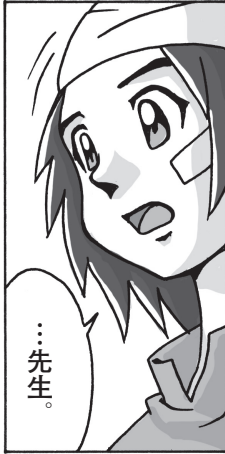


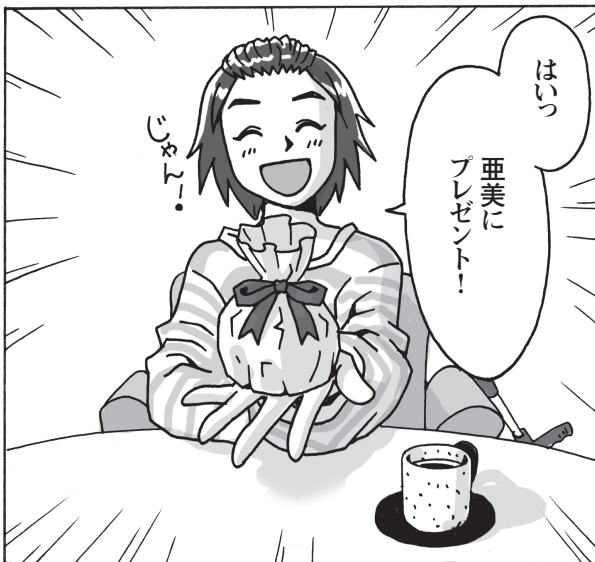
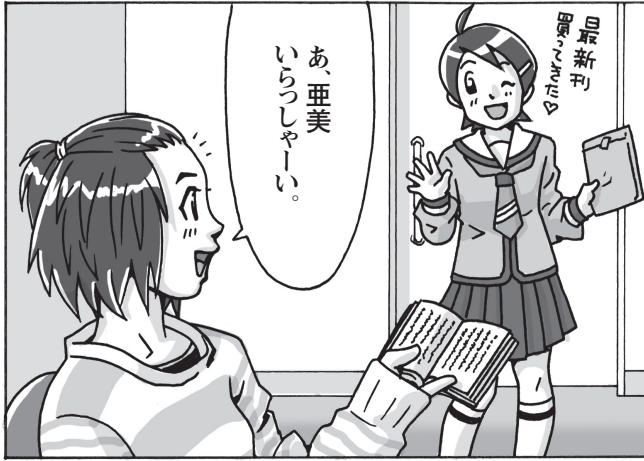
やりたいことが  
あるつてとても  
大切なよ。  
その気持ちがあると  
回復がぜんぜん  
ちがうの。

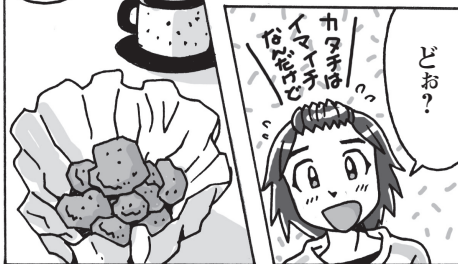
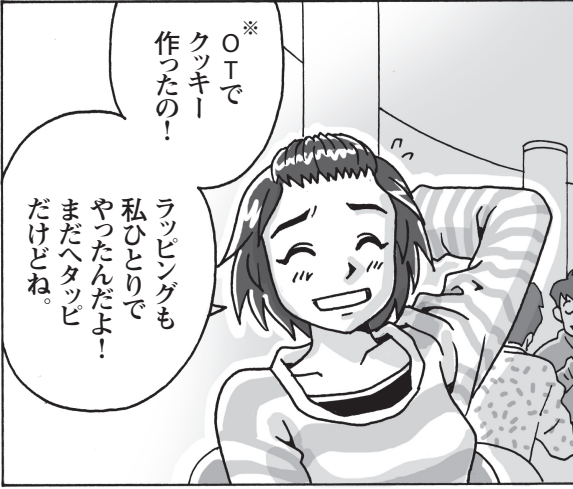




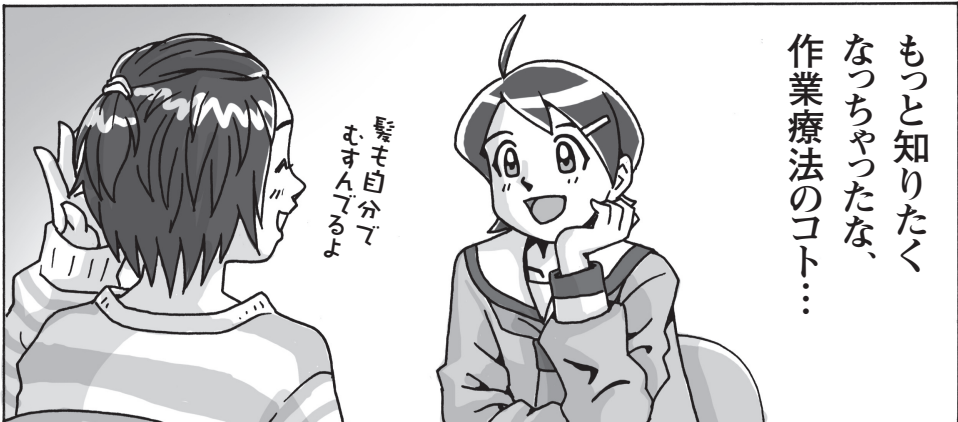
※訪問作業療法をはじめ、就園・就学・就労の支援や、保育園や学校、職場での活動支援、高齢者介護予防や健康促進のための教育・支援も行います。













どうして、美穂はクッキーを一人で作れるようになったの？

作業“クッキーを作る”が、できるかどうかは手足が動くかどうかだけではないの。どんな材料、道具、空間で行うか、だれと行うか、やり方や手順はどのように行うか、その作業の経験と熟練度、したいと思う意志の強さなどが関係しているわ。

美穂さんの場合、行う空間・材料・道具・手順を手足の状態に合わせて変えることでクッキーを作れるようにしたの。実は今の状態でももっとうまく楽にクッキーを作れるようにもできるのよ。



え?! もっとうまく作れるようにできるんですか? (できるならなんでしないの~?)

ええ。でも、美穂さんの場合、お菓子作りは“治療”つまり、手足の回復のために行っているから、今は単にうまく簡単にできる方法は用いないのよ。回復に効果的な姿勢で、手足の良い動きを引き出し、その動きを繰り返し練習できる方法で行うようにしているの。

作業の目的に合わせた力加減やスピード、タイミングを含めた動きを再獲得できるという点では、他の治療法よりも実用的だし効果的なよ。ちなみに、お菓子作りを用いることは、美穂さんらしさを取り戻すための心理的回復の点でも重要視しているわ。

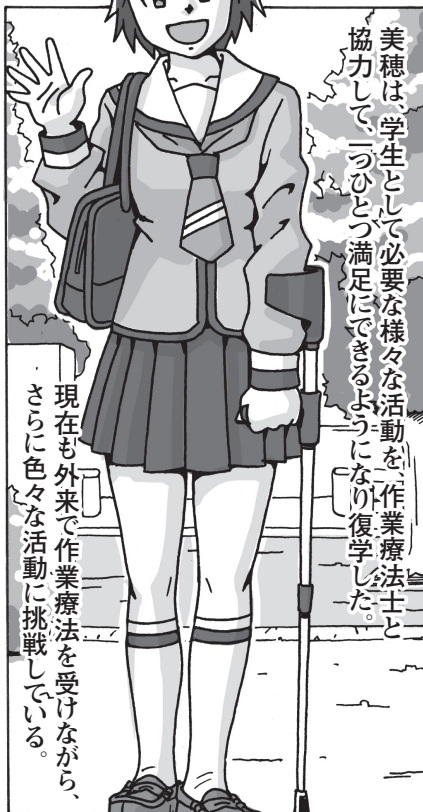
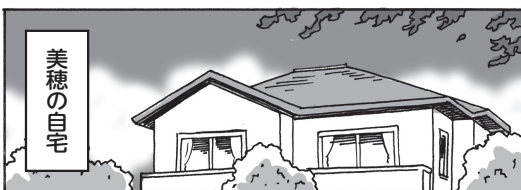
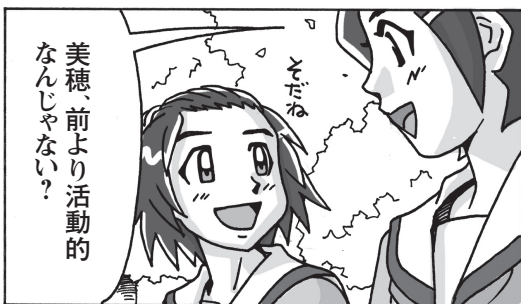
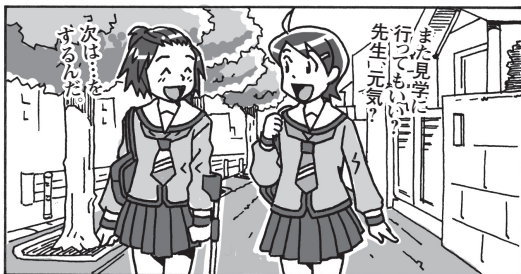


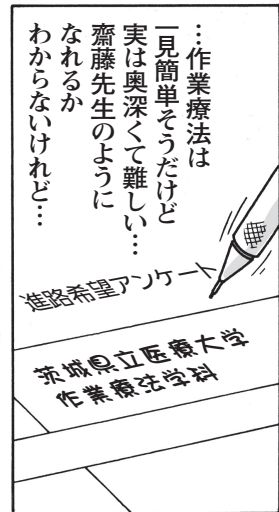
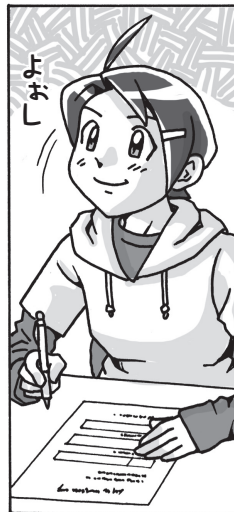
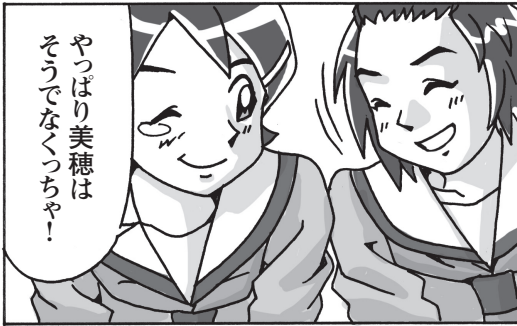
作業を治療に使う…思っていたより難しそう…

作業療法学科では、疾患や身体、作業に関する様々な知識や技術を4年間かけて勉強するから大丈夫。作業療法士は“作業ができる”ようにする知識と技術があるから、身体障害だけでなく、精神障害や難治とされる症状（例えば認知症、自閉症）がある人の生活障害の改善支援、健康な人を含めた健康維持・促進に関わることもできる、幅広い活躍が可能な職業なのよ!







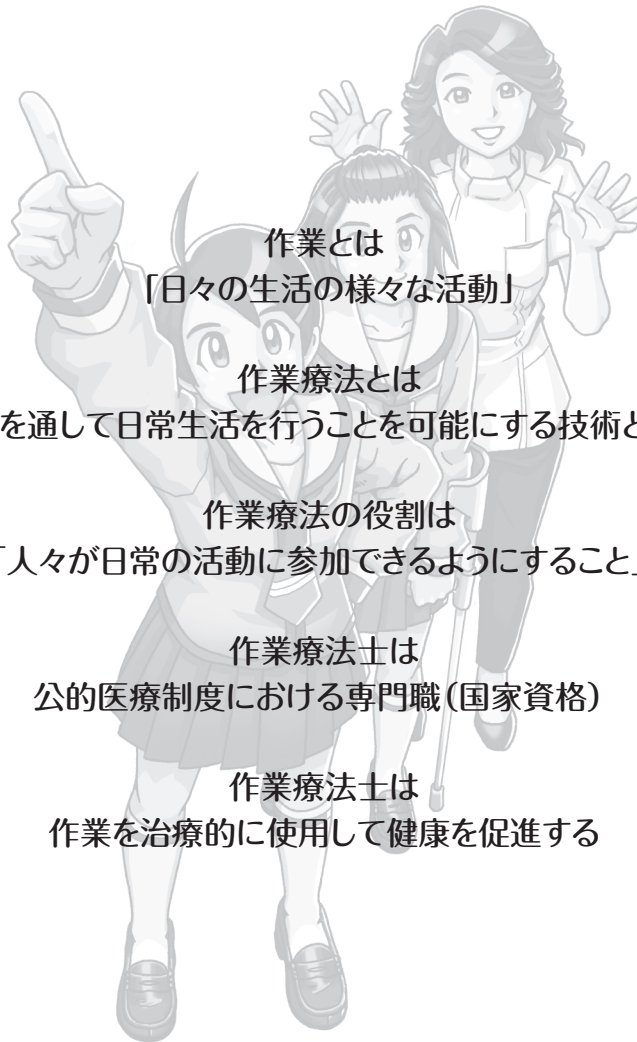




# 亜美ノート



- 作業療法は、Occupational therapy (オキュペイション・セラピー) の訳語で、病院などではよくOT (オー・ティー) と呼ばれている。作業療法士はOccupational Therapistで国家資格。
- Occupation (作業) は、語源はoccupy (占有する) の動名詞で、何か活動を行う際には、自分の心と身体の機能やエネルギー、時間を投入する(占有される)ことで、何かが生まれ、得ることができるという意味から名づけられた。
- 作業療法は、気晴らし的活動の使用(手芸や農耕など)から、活動の治療的使用(身体・運動機能の訓練や、精神分析的な使用、代替機器の利用など)を経て、今日では意味ある作業を通じた可能化(その人の社会的役割に必要な日々の様々な活動が遂行できるように支援する)へと進化してきている。
- 現代の作業療法は1910年代に米国で誕生し、先進国を中心に世界中に広がった。世界作業療法士連盟(WFOT)には69ヶ国が加入している(H24年2月現在)。日本には戦後に導入され、1965年に国家資格化し、公的医療制度における専門療法(主にリハビリテーションの専門家)として社会的に認知されている。
- 作業療法士は世界で約35万人、日本に約6万人いる。日本の作業療法士の1/3は男性、2/3は女性(H24年2月現在)。
- 日本の作業療法士は病院等の医療分野(約7割)を中心に、保健、介護、福祉、行政、教育・研究分野等で働いている。障害領域別では身体障害(約5割)、精神障害(約2割)、発達障害(1割弱)、老年期障害(約2割)の割合。
- 日本では、3年制あるいは4年制の専門学校、大学を卒業して作業療法士の国家試験の受験資格が与えられる。米国、カナダなどは大学院以上、その他多くの国が大学以上の教育が最低基準となってきた。



作業とは  
「日々の生活の様々な活動」

作業療法とは  
「作業を通して日常生活を行うことを可能にする技術と学問」

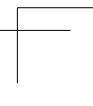
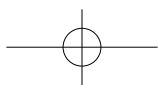
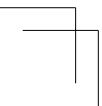
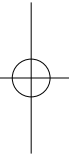
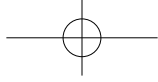
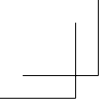
作業療法の役割は  
「人々が日常の活動に参加できるようにすること」

作業療法士は  
公的医療制度における専門職(国家資格)

作業療法士は  
作業を治療的に使用して健康を促進する

作業療法の魅力 ～自分らしく生きるために様々な活動ができること～  
2012年3月発行

- 原作・監修 今井忠則(茨城県立医療大学作業療法学科 講師)
- 監 修 齋藤さわ子(茨城県立医療大学作業療法学科 教授)  
村木 敏明(茨城県立医療大学作業療法学科 教授・学科長)
- 発 行 者 茨城県立医療大学



# 茨城県立医療大学 (IPU) 作業療法学科はここがスゴイ!!

## 1 就職率は開学以来100%!!

本学科では、約40名の卒業生に対し、毎年多くの施設から求人があり、就職希望者の全員が就職を決定しています。

年 度	H22	H21	H20	H19	H18
施 設 数	786	654	689	636	828
求 人 数	2,531	1,966	2,088	2,169	2,503
求人倍率	<b>63.3</b>	<b>49.2</b>	<b>52.2</b>	<b>54.2</b>	<b>62.6</b>
就 職 率	<b>100%</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>	<b>100%</b>

## 2 高い国家試験合格率!!

本学科では、全国平均を上回る高い国家試験合格率を維持しています。

年 度	H22	H21	H20	H19	H18
本 学	<b>92.9%</b>	<b>97.5%</b>	<b>100%</b>	<b>94.3%</b>	<b>100%</b>
全 国	71.0%	82.2%	81.0%	73.6%	85.8%
差	+21.9%	+15.3%	+19.0%	+20.7%	+14.2%

## 3 教育環境の充実!!

### 学生一人あたりの教員数は日本トップレベル

有資格者(作業療法士)の専任教員20名(嘱託助手5名を含む)+医科学・人間科学センターの教員。  
※1学年40名クラス

### 世界作業療法士連盟(WFOT)の認定校

1,000時間以上の臨床実習など国内基準よりも厳しい基準をクリア。  
海外(加盟国)でも資格の受験資格がある。

### 大学院(博士課程)までの一貫した教育

作業療法士養成校で博士課程(後期課程)まで設置しているのは176校中19校のみ(H23年現在)。  
国公立大学唯一のリハビリテーション専門付属病院、作業療法の専門書では全国有数の蔵書数の図書館を併設。(H23年現在)

 茨城県立医療大学 〒300-0394 茨城県稲敷郡阿見町阿見4669-2

[代表] 029-888-4000 [入試関係] 029-840-2111 [学生生活関係] 029-840-2108  
<http://www.ipu.ac.jp>

Copyright (C) 2012 IBARAKI PREFECTURAL UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES. All Rights Reserved.